

10 家庭

科目名	生活産業情報	単位数	2	学年	第2学年	科 コース	総合生活科 全コース
使用教科書	実教出版「生活産業情報」			副教材			

学習の到達目標

1. 社会における情報化の進展とそれによる問題点を理解し、モラルを身につける。
2. コンピュータに関する基本的な知識・技術を身につけ、適切な情報の収集・分析・処理・発信方法を習得する。

学習計画

	月	単元	学習内容及びねらい
一 学 期	4	「生活産業情報」を学ぶにあたって 1. 情報化の進展と生活産業 (1) 情報化の進展と社会 (2) 生活産業における情報化の進展	学習の意義や内容、学習方法や評価の方法、情報処理室の使い方、コンピュータ利用における注意事項などについて知る。 情報化の進展にともなう生活や産業の変化について理解する。 生活産業の各分野で、情報機器・情報システム・ネットワークの役割や利用状況について理解する。 個人のプライバシーや著作権の保護、収集した情報の管理、発信する情報に対する責任などの情報モラルおよび情報通信ネットワークシステムにおけるセキュリティ管理の重要性について理解させる。 消費者のニーズを的確に把握し、的確な商品やサービスを提供するために、生活産業において情報機器や情報通信ネットワークを利用した情報の活用が行われていることを理解する。
	5	2. 情報モラルとセキュリティ (1) ネットワーク社会の危険性 (2) 情報モラルとマナー (3) セキュリティ管理	
	6	3. 生活産業における情報活用 (1) 生活産業における情報活用の意義 (2) 生活産業における情報活用の実際	
	7	期末試験 日検検定試験	
二 学 期	9	4. コンピュータ機器のしくみ (1) コンピュータのしくみ (2) ハードウェア (3) ソフトウェア	コンピュータの基本的な機能と動作を理解する。 コンピュータのしくみについて、入出力装置、中央処理装置、記憶装置、通信装置および周辺機器として使用される主なものの機能としくみの概要を理解させる。 ハードウェア・ソフトウェアの関係やOSの役割について理解する。 情報の収集・処理・分析・発信など、作業内容にあったアプリケーションがあることを理解する。 インターネットのしくみやインターネットを利用した情報収集の操作方法を理解する。 情報を送受信するための基本操作を身につける。 日本語ワードプロセッサの操作方法を身につける。 表計算ソフトの基本的操作を身につける。
	10	日検検定試験 5. 情報通信ネットワーク (1) 情報通信ネットワークのしくみ (2) 通信ネットワークの利用	
	11	6. 情報の処理・分析・発信 (1) 日本語ワードプロセッサの利用 (2) 表計算ソフトの利用	
	12	期末試験 日検検定試験	
三 学 期	1	(3) 画像処理ソフトの利用 (4) プレゼンテーションソフトの利用 (5) Web ページ作成ソフトの利用	画像処理ソフトの操作方法を身につける。 プレゼンテーションソフトの操作方法を身につける。 Web ページの作成方法に関する技術を身につける。 生活産業に関連した情報をインターネットを通じて収集し、その情報を処理・分析し、情報機器を活用した効果的な発信方法について理解し実践する態度を身につける。
	2	7. さまざまな分野における利用 (1) 食生活関連分野での利用 日検検定試験 (2) 衣生活関連分野での利用	
	3	(3) 住生活関連分野での利用 (4) ヒューマンサービス分野での利用 (5) 消費生活分野での利用 学年末試験	

学習評価

各学期の定期試験・実技試験の成績をもとに、検定試験の受験状況・出席状況・授業態度・参加意欲などを総合的にみて評価します。